



2023年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 株式会社 ティア
コード番号 2485 URL <https://www.tear.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画本部長
四半期報告書提出予定日 2023年2月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	3,626	8.6	387	5.4	392	6.2	261	6.9
2022年9月期第1四半期	3,338	3.0	367	9.0	369	9.2	244	11.4

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 261百万円 (6.9%) 2022年9月期第1四半期 244百万円 (11.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	11.68	
2022年9月期第1四半期	10.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	14,317	7,538	52.7
2022年9月期	14,166	7,501	52.9

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 7,538百万円 2022年9月期 7,501百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		10.00		10.00	20.00
2023年9月期					
2023年9月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,220	4.7	715	19.0	705	19.6	465	20.7	20.75
通期	14,075	6.0	1,100	4.0	1,085	3.5	710	24.9	31.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期1Q	22,406,100 株	2022年9月期	22,406,100 株
期末自己株式数	2023年9月期1Q	1,556 株	2022年9月期	1,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期1Q	22,404,625 株	2022年9月期1Q	22,404,630 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国際情勢や為替市場の変動により資源・輸入財価格が上昇したものの、輸出の増加やサービス需要の回復等により持ち直しております。また、個人消費の増加や供給制約の緩和等により、今後も緩やかに回復するものと見られておりますが、変異株による感染再拡大、海外の経済・物価動向等、先行きに対する不透明感は拭えない状況であります。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、核家族化や葬祭規模の縮小等により、葬儀単価の減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましては、葬儀件数は前年同期と比較して増加し、葬儀単価は感染症の影響に伴う葬祭規模の縮小及び法要料理の販売減により、低下した状態が続いております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、会館数260店舗体制をはじめとする中長期ビジョンの実現と今後の持続的な成長を目指すべく「新生ティア」のスローガンのもと中期経営計画を策定し、4項目のテーマを設け8つの戦略を推進しております。新規出店の状況につきましては、直営は愛知県下に「ティア愛西勝幡」「ティア東郷」、三重県下に「ティア四日市大矢知」、大阪府下に「ティア東大阪大蓮」を開設いたしました。フランチャイズでは、静岡県下に「ティア掛川」を開設し、これにより直営87店舗、フランチャイズ58店舗の合計145店舗となりました。

売上原価におきましては、固定費は増加したものの売上高の増収効果により負担割合が低下し、経費面では、新店稼働に伴う固定費の増加や、積極的な人材確保により人件費等が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は36億26百万円（前年同期比8.6%増）となり、売上原価率は前年同期比と比べ0.7ポイント低下し、販売費及び一般管理費は前年同期比12.4%増となりました。これにより、営業利益は3億87百万円（同5.4%増）、経常利益では3億92百万円（同6.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億61百万円（同6.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、感染症の予防及び拡散防止対策を講じつつ、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等に取り組んでまいりました。葬儀件数におきましては、既存店の件数が増加したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比11.7%増の3,794件となりました。葬儀単価におきましては、葬儀付帯品の単価は増加したものの、祭壇売上、供花売上の単価がそれぞれ低下し、前年同期比4.2%減となりました。この結果、売上高は34億98百万円（同8.1%増）、営業利益は6億42百万円（同8.9%増）となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、FC会館が前年同期と比べ3店舗増加したことによりロイヤリティ売上が増加し、またFC会館への物品販売も増加いたしました。経費面ではFC本部の強化を図るべく人材を増員し、この結果、売上高は1億28百万円（同25.0%増）、営業利益は17百万円（同8.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は39億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が29百万円減少したものの、売掛金及び契約資産が98百万円増加したことによるものであります。固定資産は104億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が93百万円減少したものの、有形固定資産が1億62百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、143億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億50百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は43億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が2億23百万円、賞与引当金が97百万円減少したものの、短期借入金3億82百万円増加したことによるものであります。固定負債は24億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が24百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、67億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億13百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は75億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億61百万円及び剰余金の配当2億24百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月11日に公表いたしました、「連結業績予想」「配当予想」に変更はございません。当社グループにおける、感染症の影響は、当連結会計年度において一定程度継続すると想定しており、以降(2024年9月期)につきましても同水準で推移すると見込んでおります。この前提による業績予想につきましては、以下のとおりであります。

葬祭事業におきましては、既存会館が堅調に推移する見通しなに加え、新規出店の稼働による増収効果を見込む一方、リロケーションにより既存会館2店舗の閉鎖を計画しております。また、フランチャイズ事業におきましては、新規クライアントの開発を積極的に行うと共に、会館向け物品販売の拡大を図ってまいります。経費面では取扱商品の見直しや、葬儀付帯業務の内製化等を推進する一方、「新店稼働に伴う固定費の増加」「積極的な人材採用」「中核エリアのシェア向上にこだわった営業促進の実施」「本社北館建設(ティア・デザイン・ラボ)に係る設備投資費用」等を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,080	3,051
売掛金及び契約資産	468	566
商品	66	68
貯蔵品	60	62
その他	166	160
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	3,839	3,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,560	6,786
土地	1,561	1,561
その他(純額)	662	599
有形固定資産合計	8,785	8,947
無形固定資産	63	79
投資その他の資産		
差入保証金	862	859
その他	619	526
貸倒引当金	△3	—
投資その他の資産合計	1,478	1,385
固定資産合計	10,327	10,412
資産合計	14,166	14,317
負債の部		
流動負債		
買掛金	323	369
短期借入金	200	582
1年内償還予定の社債	20	20
1年内返済予定の長期借入金	453	460
契約負債	1,737	1,755
未払法人税等	279	55
賞与引当金	221	124
資産除去債務	0	0
その他	1,015	969
流動負債合計	4,250	4,337
固定負債		
社債	80	80
長期借入金	1,255	1,265
役員退職慰労引当金	0	1
資産除去債務	741	766
その他	337	328
固定負債合計	2,415	2,441
負債合計	6,665	6,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,873	1,873
資本剰余金	1,506	1,506
利益剰余金	4,121	4,158
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,500	7,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	7,501	7,538
負債純資産合計	14,166	14,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	3,338	3,626
売上原価	1,992	2,139
売上総利益	1,345	1,486
販売費及び一般管理費	977	1,099
営業利益	367	387
営業外収益		
受取利息	0	0
広告料収入	3	3
受取家賃	1	1
その他	2	5
営業外収益合計	8	12
営業外費用		
支払利息	5	6
その他	0	1
営業外費用合計	6	7
経常利益	369	392
税金等調整前四半期純利益	369	392
法人税、住民税及び事業税	54	34
法人税等調整額	70	96
法人税等合計	124	130
四半期純利益	244	261
親会社株主に帰属する四半期純利益	244	261

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	244	261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
その他の包括利益合計	△0	0
四半期包括利益	244	261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244	261
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
葬儀施行関連	3,222	—	3,222	—	3,222
その他	12	102	115	—	115
顧客との契約から生じる収益	3,235	102	3,338	—	3,338
外部顧客への売上高	3,235	102	3,338	—	3,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	3,235	102	3,338	△0	3,338
セグメント利益	590	16	606	△238	367

(注)1. セグメント利益の調整額△238百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△238百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
葬儀施行関連	3,483	—	3,483	—	3,483
その他	14	128	143	—	143
顧客との契約から生じる収益	3,498	128	3,626	—	3,626
外部顧客への売上高	3,498	128	3,626	—	3,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	3,498	128	3,626	△0	3,626
セグメント利益	642	17	660	△272	387

(注)1. セグメント利益の調整額△272百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△272百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。